藩翰譜

十二上

雜書部 五函 第三三三號 共一五冊

和書門 類 四二五六六號 一三三 函 一四 架 三冊

内閣文庫 和書 類 四二五六六號 三冊 一五五 函 八 架

内閣文庫
番號 和 42566
冊數 36 (14)
函號 155 58

国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫

二満 諸家譜第十二之上

蒲生

侍従秀行朝臣 故京秀行八条殿光秀卿の

男也 法名府将軍秀卿の二男法号府将軍千時六代

の孫 惟俊 京号 尺元氏 初白源奥出羽守上洛上洛出蒲生

の郡 氏 中一代 蒲生太郎 名宗 蒲生氏 八条家の付 子孫 号氏郎 の所の

中 氏 号 氏郎 号 蒲生氏 子孫 号氏郎 の所の

右大将家 光氏 京号 右馬允 秀俊の子 子孫 惟賢 初 惟賢 六代の孫

実俊為朝秀郷建武年中足利殿ニ属ス戦ス
とくに秀郷ノ七代孫ニ当ル秀郷ハ俵藤太ト称ス
門ニ入リテ源氏刑部大輔秀郷ハ武勇ニ秀テ将軍家
ヨリ仕ヘシ二男為実ハ下野ノ国ニ住ス
二男音羽右馬允秀順ハ細川家ニ仕ヘシ刑部大輔
秀郷卒シテ子刑部大輔秀紀ハ叔父右馬允
ト下野国ノ秀紀ヲ殺シ下野ノ
男下野守貞秀ノ父ヨリ子左衛門尉賢秀ニ

秀俊氏郷ノ父也ハ兄賢秀秀俊ニ人ヲ
国ノ男爵作ル其弟義賢入道義禅父子織田殿ノ
兄ヨリ減ス子賢秀　　稍篭リヨセテ
ヲ子ヲ対ス左ヲ以テ保禅ノ位人ヲ完人ヲ
八賢秀ノ孫紀ヲ異代ノ家急ヨリ減人事ヲ
引ス織田殿ヨリ下日郎ノ城ヨリ行ヒ面ヲ
川ト賢秀ヲ生ス信長ノ小姓ヨリ高ヒノ
氏郷年高ヲ以テ家ヲ代ル下ヲ父

長子信忠と織田殿以下兄弟子息とのつもり
人々ゆるせ信長と始まりて後世の世まで
らしめ忍ぶ郡しめさるる織田殿門下 浮三左の字をとり
てたまはりける
のち小牧城十二年八月信長伊勢北畠の城と
義同ゆり忍ぶ郡高岩城を大人なぶりて多勢の
中より戦ひしさ前を下ゆる信長大ひに驚き大
ひに門下を始めたまふ日野の城に留まる
為て三十年六月二日織田殿父子弟子を

ゆり門下家臣賢秀安土の城に留まりて
忍ぶ郡氏郷八日野の城より氏郷信長の出車
をもて手勢六百騎を率ひ一番六十人戦ひ
場百人ばかり武百人を引き 勝敗なし
来る先陣を出でて父の賢秀大ひに怪し織田殿の
浮雲郡に立達始まりしのしてもて
悪くよ川を一日野の城に入れ来る
勢を保保して逆後漸戦の法をめぐらし的智賢秀

いせを守て先日世の城まで攻かゝる所に厳
の川辺桜津城より攻のぼり秀吉方より
氏郷小島殿の川端まで移る所に明智光秀
秀吉氏郷かい度の事を聞て感心の智を
中国の出人等を制御の地蔵山へ移り
とゝ丸大石の明智光秀の軍勢に附父子大秀吉
ふくに秀吉大ひに怪て賢秀の娘をむかへて
妻に光秀より氏郷の婿なり

七殿ゆゑこの秀吉氏郷より伊勢出兵の城を
氏郷の清ましりて関白殿伝ましなる伝城の関の
氏郷様へ叙爵して秀吉
小島殿に不快の所氏郷まで秀吉より
かい井の城へ攻寄せ伊勢出馬の様
日世の城言石より信長
十二万石なりたまへ
秋山右近 作郎 いせ国 伊勢より十の二人
大和出雲守郡の住人
作兵衛 田国出本造
の軍を神めとして北伊城

中務殿の陣より攻まいて悪く戦ひをのりうしなひ
五六年四月十八日に近衛信尋公と羽柴
の弾正と申さるゝ者相模の城を攻て有ける年
重て の間関白殿より氏郎相模へ参向し
伊豆国韮山の城を攻て小田原の城をかこまし
小原をうしなひて後先陣を形て浦賀へ出まし十月
十七日関白殿会津の城より氏郎を召こし会津六郡の
地より越後の新潟迄の地合せて十一郡を仕て浦
賀へ出ての当後織田信長の代より父秀吉の代
に成て父子共に
氏郎は副らるゝ
後音信ナ浦の地より俄徒起つて秀吉父子をせめ
氏郎は中をへて伊達二郎政宗より謀叛を
こゝろ為向てこの俄徒悪しらたゝ
九戸
慶長八十九年の夏白郎の家子九戸とまて
じく中納言秀次迄の方へ向りて氏郎

中納言の陣より起りて悪く戦ひとりつもりて
五六年の間十八日に近衛信尋公と羽柴
の弾正と申さるる人仁和寺の城を攻て
重ねの間関白殿より御使を以て桐模様より後陣
伊豆国韮山の城を攻て小田原の城をかこませ
必ずして後先陣を形て後矢はまして八月
十七日関白殿会津の城より氏郎を召て会津六郡の
地を織後の新山道の地合せて十一郡を仕て法
華宗の明の当後織を仕まる 畢竟の地又西村注進
門徒百姓衆父子より首を刎ル 海の地を仕て伊勢
氏郎より副らるる門九月のうち関白殿高麗
後首帰ル 海の地より俄徒起つて西村父子を殺し
氏郎は中を分て伊達二郎政宗より聞て軍勢を
さし向られこの俄徒悪くしたりこの
ゆへ八十九年の夏自邪の家子共を
じく中納言秀次迫対の事を聞よりて氏郎

大陣を立て江戸の城を攻やぶる去年今年の
戦功の賞として陸奥出羽郡の地を加へらる
陸奥田村武部仕逢信夫州田村郡出羽の長井郡とせい年
分合せて十九郡一百二十万石余の地なり
十二月廿八日奥州会津に信夫なる白河郡奥州に伊達
のこり文禄元年の夏朝鮮の夷邪て白河郡
把前に名古屋に陣し給ふ二年の春俄に遠例
して西を立て出る路に法醫術をなすこと
ならずして帰国し給ふ三年三月病牧して
上洛して今年十二月大内氏郡の郡に入部を乞ひ給
意の事ありし氏郡の病日に月に重くなりて年
半過て文禄四年二月廿日郡のうちにて卒
し給ふ
かさりなる小姓に殺されたるの
ふうせしと云説をかくしたるの筆まことの世にて
書無なる見ハ去なる天正十九年 戸の戦ひの
後石田治部が猶に会郡に帰て去氏郡か

軍をも中とのゝ人はまたゞ人は作ゝ法の宗旨の
道を用ゆる事七日ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]文を本
宗法を拓て老ゝ法ゝ人殿下の浮屠を二仏を存
ゝ[illegible]ゝ人ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
仏ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ人ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ毒をゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

八代宗つよ　うらぬ宗流の家人等は勇をつくしてかの肥前守肥後守を流さしめて厳しく紋清忠より武者所石田三郎左衛門尉秀頼の母は故右大将信長の娘なり義人の妻へ下りしは殿下より秀吉の上洛をすすめ給ひくの小清を攻かこみ給ひこの時に用がゝりなりて尼上なりの人と大閤安ぬ事しるかりなる不しかるに海を空しの城郭を

そしく会津の地に清英を所ゝ　当主秀頼の為に年いまだ若く家の事いとなかりしかゝるに秀吉大軍を以て攻しかるに不能ようつきの事なりしかるに不能ようつきの事なりしかるに石田三郎左衛門尉家の城をようつきの事なりしかるに十二万石の人徳川家の軍者なりしかるに石田三郎左衛門尉家の城をようつきの事なりしかるに不能減さることなりしかるに

西の軍勢に付会津の城を引しかるに英の先陣しかるに慶長七年八月上杉中納言景

勝茂様の城へ移る九月吉日義清の城を八幡
宮御社へ移し奉る　十七年六月十四日年
少し年世を経ることなり病子無子代九十歳
にて家をつぎ元板にて中書様より公御
十代二男藤吉郎中務を猶子にて忠知と申し
兄弟　に大津御の清外御家にて　なり八
将軍家より清信の字をたまはり清家弾正と
名乗る　公御初は後に信濃守信
とよばれて寛永に年二月四日出家して
年一のち世つぎ孫八家ぶくを
侍従兵中務大輔原忠知八秀行御代の二男
寛永二年に信侍従となり三年出羽守上
山の城を拾ひ忠知ハ幼少なるゆへ四年五月
忠知御代世をゆづりて後同二十日御
家を松山の城へ移し代わり御の和泉ハとして
日野の地を与へ下し給ひ　寛永十一年

八月十八日年号ハ寛永と改世ニ
ナリ家さんてら

人名

中納言秀忠卿ハ小笠川伯爵ハ河内守の
世つぎなり（注系ニハ秀忠卿ハ中納言ニ任ス）
本下肥後守家宝ニ曰ク大内小廳の間
なり今ハ小廳ハ
なさしめさるの中納言の
館ハ太内の養君となる
西十九年ニ至て河内守を副ス

おさまりて後、少し後京の人と云て子孫世
世事に出ることなりて中ごろ後京の嫡子利
右馬の允惟元の世嗣いまだ幼少なりし時長田四郎高宗
世の事の親正二人の毛利の家を乗っとりたる世嗣
の事をとりあつかうとして殿中より出ずして
家つをうしなう人は家のつめ出のうえもまうえ人と云
由にて親正は事を長門督後京
の沖に来つて出でをうぐ後京申して云事若狭かん

よ、我等の家の事はこれ有なりて生涯の
内を保ちて長肥両院の沖より向いて後京
殿下の沖をまもりて義家を成るのこと
後肥前のうらにて二郎の地をかしたまへ
でまかりこさぬ忠親光人殿秀秋と出を
事を後京に山内のうらに行て色をまつ行の地
なりて籠り居て六人は行事の事の色はいつ
いまを以て内と沖を治めべしとぞ

て後関白殿は此事を聞て悦ひの一事なしめ給ひ隆
景の請に任てをつかしけるか故に後隆景か
もらひける光にまゝ、彼隆景兼て元就か孫なる秀
元をして輝元の世嗣とし給へ輝元秀元ハ隆元か孫なり子ハ毛利の備しにより世の人知る一
隆景の跡をハ輝元の家ハ嫡流にて其か家を
庶子なれハ嫡流の種姓たる元就の子をかへして家を
を福ふかゝりて後ることそゆかしけれ文禄のはしめ
朝鮮の軍起り隆景彼地に渡りて去城の一戦に

大明の李如松をうちやふり又晋州の城を攻落しける
勲功に依て従三位中納言となり慶長二年六月十二日
年六十五にて卒しぬ秀秋隆景か家を継て筑前
となる也 秀秋を金吾中納言といひしハ左衛門督なりしゆへ也
又秀秋ハ左衛門督となりしかハはしめより金吾殿といひし
よりて後の人々もかくよひならはし
此年二月いまた隆景か卒をきかさりし時
秀秋十六才にして朝鮮をうつて大将軍を承りて
宗徒の大名数多引ゐし総合其勢十万三千人六月
廿日大坂を立て同七月十二日朝鮮に打渡り釜山

城に入り給ひ八年永正元年四月廿日尉山の後巻に
玉先に立て秀秋の手より武者に騎ひて
おとしたらるるの首一万二千弐百　八月朔日
は彼者同月廿六日伊豆の城まで攻入る大内軍の
中を罪に五千八歳の石田治部少輔家を
攻入る八月廿日の合戦の前に勇敢に戦ひ
の上を以て同廿の日の勝
利つて谷山城を攻入て戦ひ
の中に入て戦ひ

の中の秋秀吉に敗北して敗走する敵
うつて谷山城を攻とりて山内に八月朔の日
自害する以後八月廿五日に
ろ貢代伊豆に帰る八月八日
長谷に家康に秀秋の切を賞し給ふ秀秋大内
の伊豆に帰て城を築く年九千石軍勝を竜
重に同月十七日谷山浦に於て内府
大坂に帰る八月廿日伊豆の城に秀秋

[illegible]の七人の軍奉行[illegible]
[illegible]仕[illegible]
のかい陣を[illegible]る太閤[illegible]
[illegible]て後太閤[illegible]秀秋の軍[illegible]
[illegible]陣[illegible]感[illegible]太閤[illegible]軍
の[illegible]軍[illegible]切[illegible]
[illegible]秀秋[illegible]後
悔[illegible]秀秋[illegible]

心[illegible]弱の[illegible]辞[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]秀秋の[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]秀秋の[illegible]

山口玄蕃允まじりの人数の心変を申さるる
所鎧を内へ入れそらすべしと秀秋申て
らるるさた事を申て　日を出て
徳川殿へ先のひとりく別して城館をもかま
ひのうちへ大内の心使して居申候
御ゆるしを蒙り尉山の城ひしめく家
へ又只今の内系を書候のむりなりサ
城をもと思ひて城をのの城をつるぬ

秀秋の家来
なと八中納言ハ此ゆ急つて
きんつ元の中
こをのくさかくばそしやうかう角をかるへ
くなりとて　より迎ひ徳川殿　秀秋
まじりをのの御ゆるしを
へなとしかるとハ　所をけ六門府の少しの
おこをの家なと所の少方の中
とりて秀秋　徳川殿　秀秋

いかくも仰せられそうらひしの
政所のなりたるの人は太閤しさのこの公つくしは
ゆいたるものとし仰せられそうらひ秀秋ゆるしの
首切て後内府の仰せられそうらひ中さるる
徳川殿ゝ今は仰せられそうらひ杉原山城
ゝ申こそ家康ゝ秀秋ゆるしの命ゝ仰
せられそうらひ外様の仰せられそうらひ徳川殿前
利家ゝ申しに秀秋の事ゝ仰せられ今ゝ

利家様ゝ申せ徳川殿は日ゝ太閤日ゝ秀の長
仰せられそうらひ首ゝ引ゝ太閤ゝ仰せられ毎日思召の
中ゝ人ゝ仰せられ秀秋の申しうさまたるそうらひ
見ゝ申ゝ申ゝ申ゝ人ゝ申ゝ申ゝ
言ゝのしてゝ後ゝ内ゝ秀ゝ太閤ゝ
めのゝ仰せられ徳川殿の申ゝ
ゆくゝ仰せられ太閤の仰せられ
内府の申しそうらひ命ゝ仰せられ

徳川殿ゟこれをのびて秀秋のもとへ申しこ
秋原山口をめして城あまたうけ付
より城不出小左の代十六万石にてゝ
十秀秋のうちうえ山口より徳川殿の伯父にて秀秋
そのまゝ藩の主を能くさらうと山口ハけ付ゝ大内の四家人よりさ
ゝ

慶長六月二日より徳川殿秀秋とうちつ
もして来るをの大内ハ対面の儀事
終り秀秋ハ和をゝしるゝ安宅貝の力石光の眼玉大坂
十枚徳川殿へ引わ仕ゝ右拾子ホの茶壺壺二 英令
長浦江ゟ引て徳川殿ゟ使ゝ
殿使ゝ

仕ゝとの付ゝ方ゝ
仕ゝ
世の人洋かるゝと
山の戦ひの中流家の流れ
大内発ゝ下内の年秋 徳川殿奥
ゝ秋と遠内の秋流
ゝ軍勢を伺て奥ゝ
ゝ内大坂の軍勢ゝ流
秀秋ハ徳川殿の

ゆゑに名にハ舎兄木下右衛門大夫延俊播州生
姫路の城主播磨にて東せいの味方の城のかためにて
終ありし名ハ先に逃入道所に居させてはやく
関東よりさして舎兄延俊あへて城をかため秀秋
大坂にいたり下延俊に申たのミ大坂よりありし丈
より都よりのがれて政所の御方よりありし秀秋ハ
北政所の味方侍るへき名ハ出てはしり申さる政所
出し給ひ大坂の名ハ伏見への城攻らるへしとかきある

若狭の兄の宰相勝俊後の事ハ後に長嘯子と申せし（本ハ木下の傍らけ人の事に伝まいらせ侍）
北政所の名をたてての城にゆり若狭大坂の
名をとしかの城をせ
秀秋さしうへハ伏見の城に入て東せいの陣場に

[illegible]より相篭り四方[illegible]
て伏見の城より使をたてゝ[illegible]いまでいとまなく合戦
長篠の射元忠その方より[illegible]こう[illegible]四方の味
方の[illegible]の人より芳手の人[illegible]たまひしひ
いうも人々[illegible]ことのはぬやまいらそ
東国の軍勢攻のぼる時[illegible]切をのの
[illegible]清洲の方を[illegible]関東より[illegible]
[illegible]言えて元忠の郎等一人関東より[illegible]

中[illegible]（仔細根本[illegible]郎ホとかたらひ）秀秋力かよび[illegible]家人[illegible]
[illegible]て[illegible]西軍勢[illegible]つさて（千[illegible]八[illegible]西[illegible]
入道[illegible]）関東
まいゆとて[illegible]伏見の城[illegible]
後は城[illegible]て東国の[illegible]
[illegible]城悪くやうにぬ[illegible]
海山[illegible]攻[illegible]秀秋[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]田の浦く[illegible]を[illegible]
[illegible]本多二人の使をつかはして関ヶ原の[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]道の[illegible]日数
[illegible]て[illegible]家康[illegible]尾張[illegible]
[illegible]て関ヶ原の[illegible]
[illegible]九月十六日[illegible]の軍[illegible]合[illegible]
[illegible]方の軍[illegible]
[illegible]

[illegible]ら[illegible]の[illegible]家康[illegible]清洲[illegible]
[illegible]の先陣[illegible]
[illegible]石田の一族[illegible]
[illegible]一月[illegible]秀秋[illegible]
備前備中義[illegible]
[illegible]
秀秋二十二歳[illegible]世[illegible]

なりしハ家たへけり

福嶋

左衛門大夫正則ハ尾張国の住人福嶋与左衛門尉か
嫡男初め尾張太閤様の高麗渡しける時
正則壱万石より例をもて石給し 正則ハ若州中々の人といひ
まへつましいの事をふかれ
天正六年播州三木の城を攻め
ましくし正則生年十八歳初て高名いたしけり
又ハ後志津嶽の戦ひに切かけ一番かけ志津嶽の
先かけ七騎の中の第一ハかりにての賞を給ふ

は年天正十一年十月より叙爵時より秀吉
さまは我が子の内の字は市松丸と言ふ
より大千石の地を与へ
より翌十二月十二年の夏四国の地を与へ
地方にて分治の城を作せ
より翌十六年肥後国宇土の一揆を平せし年
関東の軍に逆らひの城を攻破り文禄の初の朝鮮
に押渡りて外出せ と振舞 宗茂は城より下りて大の朝鮮
山の城より外出の人いろ〳〵ありしかども三河は関白の叔父なれば
うちかばかりの事にて改まりしとかや 後は関白
秀吉の甲斐の
紀伊文禄四年七月関白秀吉の甲斐の
尾張清洲の城より移り二十万石又は伊勢
桑名の氏郎をもさらに長久年八月太閤薨
らるて後徳川殿の清洗若松平四幡守康元の長
より三河の国男利勝の国こゝの長より宮ゆら
より中納言大坂の奉行ホ家康利家
死して徳川殿ていとの長男秀忠
都より伯耆さまに三河殿方として

清敏寺に葬られたまふ後正利君
石田治部少輔と家康公と
その時日本国中大いに乱れ
秋徳川殿勇の上杉討の
正利父子同日に地下に
大坂の奉行衆
徳川殿天下の
上と方々人数
人々の家老
家康公
中略
方々人数
人々の家
のこと
入人間
小
清敏寺
中略

軍勢ト軍用金ヲ送リ大坂ノ奉行小笠原
信濃守ヲ以テ天下ノ軍勢ヲ催シ上京ヲ
企テ秀頼年ヲ追テ八歳ニシテ行末ハ
如何ニ見エシトヨシ公ヲ始メ天下ノ人
ヲシテ案ジ煩ハシメ人々ノ心ハ日ニ三
刻ヲ争フテ関東ノ味方ヲシテ彼ノ逆徒ヲ滅
伐セシメンコトヲ願ヒ諸大名大小
ノ区別ナク正刻ヲ以テ上京ス徳川殿
ハ

ハ其ノ上ヲ待タレズ正刻ヲ以テ海道ノ先陣ヲ
ナシ其ノ外諸大名ハ正刻ヲ以テ出馬ス
尾州ハ清須城ヲ攻落シ関ヶ原ヲ戦テ安
濃ノ国ヲ攻撃ノ城ヲ攻落シ関ヶ原ヲ戦テ安
くの歌ヲ作リ先利潤ヲ求メテ
天下悉ク徳川殿ヲ崇ミ正刻ヲ以テ
ありさまヲ以テ人心猛ク成リ暴ク成テ人ノ命ハ
ヲ風ノ塵ヲ吹ツ出シ思ハズ生テ世ノ有
ヤウニ成リ年ヲ不知ノ振舞多ク成リ関ヶ原

の軍終りて後徳川殿かこつは草津の宿にまし
ますかひ治部少輔ゆかりをとらへ根精をたゞし
給ふらんとて既に三河のものども舞の所へ参る
三河の侍彼をもとめよと申して既に御座の間
まいらせ奏の前にて論せしかば召もちにてその
ときよ近つき侍彼の事終りて後身のいとまを
こひてみなもとのおとしたび死せんと事の
後をも後三河一門もろともに見を宿取の

よ宗治損しやうやうして後はゆへまかなり
ある日の彼かまへりて秘を志の時の命
身のいとまをしとて後大将よ見ひたるひ
て死せんとおもて神明の主ゆあり三河のもの
子細ゆり私ま成てりて來らしそ節ま
ゆゑしかの侍を見て汝一定死せんやいかよ
侍り何をへぐしくはいよししきうゝはいへとも
しそらうさしも三河の者汝よかしりて徳川殿よ

申候間かやうに将軍の前にて沙汰す
同人とのせとて首とら節し信家かゝ
係よりかゝる正行か侍将軍度よ照てきし事
御りて様切ね御実検のためかの首を表
泣ゝんと切らえて母ら之将軍を役よ事の頃
とさし前手の名まゝ之すかり事あらし
免了正行てなし御不給ねとて役とハ之ト
廾係をかみよわ浅て番の名六人か首を劇
送る（将軍ハ御覧有ての是隠れありけり）正行ハまことにいかりよ某覚源
首悪くさし扇して九天下の人其の残念
其の残にしかしかる残の其人に笑かる成派の付
覚とあふざるへき正行か父の首よりもまさる
所よたゞ中よ不の首ハ悪く見積の首しるべし
又んそうとその不と何とも思しかれきしゝ
正行か不小月よハ仰せらるとも懐敵の噂
よしやて沙汰んとかけ只今微切とやられハせし

事出来ぬれは正則一男の切腹は叶はぬ也忠勝
家康卿命を捨身を加へて宥めよと給ふ
に家康より又使者に正則か倅を以て何れ溢れよ
候せし事御準じの事にて正則か死罪をかねて
四月十日にやしなひてかほ又正則か身を救ふの
前たり巻つて願ひの上の前を許し給ひ
命じよりはやはりその首級を以て申渡す
に使者より口上にて申ける也井伊家

思ひ立てはひよ書くさし正則の了も申を不道
理に極るに依りては仍家の事を廣く謀る
の倅か首切て来るをかへん伊家し申せし
中にまに人あり公私の事何れか是にあらんや
いまに公にし正則家子郎従に来るをあらはして
忘れて居るし家事を人皆かくて申しける
徳川殿も正則にも此事を勧めしけ後は
清つかま同様を人にて流刑して一門は此所御請出るの事

ありし上徳川殿は忠を守り給て正利か申条を理
きこしめし御放伐伊家をかへし不当なりしかとも
のこりしかハ伊家ハ後切て死せて井伊か猶直政か
て其の首のしるしせて正利か降に御向ひ正利か
とらんて井伊殿のちからよりて正利和をとく
しても其もとゝに天はる年十二月安藤備後
守忠を正利にたいし其夜の戦功を賞せらるも
しかなり 同年九月八日石口は附けし人井伊侍従に向ひし正利其の功 まかせて伊家に殺させし人々に浮食代に失する

こそ心ある稀しきしに天下の為に大忠をいたせる人なり伊家ハ又
清家人ともへハ初めて人々にて白骨なりさらなる人毎に一生のう
ちにやまらぬ事よ 末のすてしさとかりて清康のふかきことに正
利のつくしありてまくへきするかにしいさらしかり
時に八六年に高家殿織前をとくしてその
入部あさましくて正利にくみしけれは御向ひ旅し
やかて高殿宗徳のか家人にむかひしかし正利
は後は常にかの門下に伺候をなして家をしては
かつてへつらは家代のさき代を以てよりやしなひと
て後ハ又正利年来のよしにはからはせで

守殿天下の御大事にのぞんでは正行もみて
ほろぶべしとおもひて大内の御命をかふむり名将とは
正行が勇秀頼の世にすぐれしかたらは仏も
まもらせ給ひて一旦はつていり安からんこそめ
人とはるゝ楠正成は守殿は大内の御光を取に給ひ正行を
しなしけれはや又守殿の御為に天下の政事
のぞんではしかり守殿は御兄とまで大和の家は御身をはなれは徳川殿
がたこさせられし御にて天下の御ゆづりは有べし思はれ正行
の御用たりしこたる事ならず
同八年二月徳川殿征夷
将軍の宣旨を蒙らせたまひ日正行に伝
が将にまかさせ同七月右大将家の大相国家は内府御名大
坂に入せられし時上方の大名悉く軽荒文かきて
秀頼にも参らせしか正行がてつからしにはもこえける
同十年五月右大将家将軍に任ぜの御内大御所様
にゆづらせられしかは秀頼家に御封両のし先大名の中
借させられしは淀殿嫌ひ給ひて秀頼家に
させ　或て東大坂の間に休わさは
かくて兵を上方の大名の中に自ひは此を

人なりしそれとしかしなから西海南海山陰
山陽の大名城をかまへし地をのこらす戦殿し
けり給ひ其城中に籠りしか十一年
其正則の嫡子刑部少輔相模守なとして其子揮也
継に前て別てその妻徳川殿の御養女にて
其氏明しは十三年豊臣家危うく思ひ
其下大名共の思ひてに大坂に馳参中にも
正則安芸神に馳参る十六年三月豊臣家上洛有
下大御所に思ふ末の附侍池田輝政肥後守清正か友
紀伊守幸長浅野之人他に志りしか正則は病と称して
大坂に残りとゝまる十九年五月廿日加賀中納言利長卒
卒して後子息利光相続十九年十月大坂より父の旧
好に送りし牒状を捨て其まゝ大御所に献せし文
と浅野氏の跡に豊臣家年来の恩よりおもひ
故大坂によりて大坂にありて大なけあり
おなしく蜂須賀阿波守の兵粮七万斛又正則は

[illegible]年[illegible]家倉[illegible]家の
料[illegible]書[illegible]世の[illegible]
事[illegible]年
の[illegible]大坂の[illegible]正利[illegible]肥後[illegible]
[illegible]大坂[illegible]米穀[illegible]城[illegible]
[illegible]の城場[illegible]方の大名が
くハさい[illegible]正利[illegible]十月
[illegible]竹中[illegible]

大[illegible]正利[illegible]
[illegible]
中[illegible]大坂の[illegible]
[illegible]織田[illegible]
[illegible]正利[illegible]故大閤の[illegible]
[illegible]秀[illegible]家康父子[illegible]
[illegible]正利[illegible]
[illegible]正利[illegible]父子[illegible]

のこうしおだやかならざるたく　ハ正則
ハ関東ましてハ中将ハ長男備後守ニ家督つかせ
おはしますのかし給ふる間同月十日大御所駿河
江府をたゝせのひ同十日　まゐらせの府
正則ヵ使者竹井の書状帯して就来宗利
正則ヵ旨て。ていらし給つかしまて領ヵ内梅
は家大坂の気ヵゝし事も不足にいつ思し
さまにて候給まさらしめし秀頼母子かゝる事ハひ

ましてハ足りには逆意の望ヵをもしひましもし
宣敷ニ不かへりてハさもしハ彼母子を付申さんべく
然ハ二人の使者をもつて消息を出しけしねやは
なるに此度は正則も大坂へかよふ文ありて見んとま
今度大御所道の事ニつきて当御所をとうく
の上へも此縁様に及んでこしにも及ばなるべしと
山影運のうちに物をそろへて時よりかゝるをもて候よ
たゝ孫の名は母子の山公をも御さしめしゆゑ

[illegible]を附[illegible]仕[illegible]候[illegible]母[illegible]と駿河江
の間[illegible]有[illegible]の[illegible]へ[illegible]書[illegible]り[illegible]三河[illegible]年[illegible]関東[illegible]
清兵衛[illegible]者[illegible]て[illegible]二[illegible]を[illegible]思[illegible]仕[illegible]書[illegible]子[illegible]又[illegible]関東[illegible]
[illegible]人[illegible]清兵[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]三河
天下の軍勢[illegible]先[illegible]駿河[illegible]迷[illegible]出[illegible][illegible]
やはり[illegible]有[illegible]を[illegible][illegible]付[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]
[illegible]の[illegible][illegible][illegible][illegible]家[illegible]運[illegible]有[illegible][illegible][illegible]
[illegible]さ[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]書

の[illegible]ら[illegible]門[illegible][illegible]又[illegible]三河の[illegible]仕[illegible]大[illegible]新[illegible]義[illegible]の[illegible]
陣[illegible]駿[illegible]有[illegible]一通の書[illegible][illegible][illegible]三河[illegible]先[illegible]
清[illegible]を[illegible][illegible]迷[illegible][illegible]彼[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]
[illegible]三[illegible]大[illegible]新[illegible]三河[illegible]
[illegible]仕[illegible]関[illegible]書[illegible]急[illegible]城[illegible]
[illegible]仕[illegible]彼[illegible]人[illegible][illegible]
の清[illegible]仕[illegible]中[illegible][illegible]利[illegible]三河
[illegible]駿[illegible]清[illegible]三[illegible][illegible]仕[illegible]軍勢[illegible][illegible]大[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西の山中で自害して果てぬ　右衛門佐殿の御子孫は
中世に至りて武蔵の国に住して代々
の名ありしその跡こそ推量侍れ　徐福の武庫郡に
住したりしかの国に住して代々
世の累を重ねしかの国に住して暴悪かくのごとき
右の通り　大将軍家世を治めたまふ時
将軍家の御切腹なさしめたまふ
時に信長の御切腹なさしめたまふ
時に信長の御切腹なさしめたまふ
の御切腹なさしめたまふ
ようかしこの城に立てこもりて
しかるに天下の覇者たるべきの
ゆゑに先ずこれを滅ぼさんとて
中国の戦ひ
うしろ
うしろ
うしろ

ゟ既のゝ[illegible]ものが城と稱[illegible]
山[illegible]備前入道乃[illegible]
亂[illegible]太閤よ[illegible]
[illegible]
[illegible]
軍[illegible]亂[illegible]
[illegible]
[illegible]和國[illegible]の城[illegible]
[illegible]

の書[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

下逆却し逆播を誅滅せられ候ハ大
坂の軍勢しかハ行の浦浦ハ[illegible]元和元年
六月大坂の事終り候て後同六月の十九日の海
小姓新田のうま中務大輔と申候て逆徒として汝の家又
若狭ゑ流罪のゑ[illegible]ゑ[illegible]汝が兄弟
初と名乗り[illegible]の浦々をとめ[illegible]
まとゑ[illegible]法と犯して刑[illegible]
のことばをそのつ[illegible]
いづれ[illegible]

そ不法を没収をとゝ[illegible]
天下将軍家の
[illegible]

肥後守藤原清正初めの名は虎之助
人皆清太閤の外戚とつさて親しかりしに
の子孫中興の名家の二男三家に分れの後
清信尾州に住し一分家道之と云
その子孫正清正岡出雲守郡
之業の母子なり虎之助
その父勇名河州千石
時なり
天正九年閏月幡州播磨城のわたり城
を
清正の下村
時清正十九歳
世に伝ふ

[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]の[illegible]
十年[illegible]月備中[illegible]の城[illegible]
城[illegible]入[illegible]月年六月[illegible]
[illegible]十一年[illegible]月[illegible]の[illegible]
[illegible]月[illegible]
七[illegible]
[illegible]
[illegible]十二年[illegible]
[illegible]月肥後の[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

下ハ朝鮮の義ハ大明の將士ハ
[illegible]
明和親の事　下ハ朝鮮ハ
[illegible]
和親の事ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

代見の城攻とあり清正元和元年
[illegible]警衛しかるに大内の心底を
[illegible]和睦事
やがて同二年七月清正病死又元隆跡を立城
[illegible]攻十月[illegible]尚道[illegible]同年蔚山
城を築て城[illegible]大明の[illegible]揚高麗
[illegible]梅[illegible]兼[illegible]春[illegible]軍[illegible]朝鮮の
[illegible]梅[illegible]朝鮮に[illegible]大明の[illegible]
[illegible]方[illegible]百[illegible]人[illegible]合[illegible]百[illegible]八百[illegible]人[illegible]朝鮮の
[illegible]清正[illegible]

太閤死後当[illegible]城[illegible]
さ戦[illegible]二年[illegible]月[illegible]人[illegible]後[illegible]
[illegible]城[illegible]
[illegible]朝鮮[illegible]武[illegible]
[illegible]朝鮮の軍[illegible]
[illegible]後七年の間[illegible]人[illegible]の戦
[illegible]清正[illegible]人大明朝鮮の[illegible]
[illegible]侍[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秀頼の事　上洛のうへ　大御所ゟ　十月肥後へ
清正侍従羅改　明年　長崎へ人数代官　あと
為　十日秀頼　ゟ　府内へ　人数　相加　清正
ちいさき　内　酒　ため　殺　なく　て　家　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　太閤　の　恩　忘　ら　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　ま　ま　ま　ま　ま

岡でおび寛永元年八月忠廣ゟ信濃へ流さる
同九年ゟ大相公家発ゟ世の中ゟ後嗣仰付
つるかゝりて古ゟ新日忠廣が所ゟ広田へうつ
さるゝ一万石酒井宮内大輔忠勝ゟ武蔵ゟ
当家ゟ光ゟ八合参長門ゟ可頼ゟ証拠ゟ
ゟ申し上ゟ

[illegible]

武家補任ゟ見ゟ所ゟ六十七年ゟ成ゟ
ゟ[illegible]ゟ時ハ二十七年ゟ
ゟ[illegible]ゟ

強所大相公殿の御しあるゟ世ゟ成ゟ
忠廣つるかゝりて二十二年兼恵二年ゟ
古ゟ[illegible]ゟ
一年いまゟつゟ
ゟ[illegible]ゟ

[illegible]

出羽源義光八清和將軍新羅三郎義家の
二男足利太郎義忠の孫上総介義業七代俗稱
家業の三男修理亮義綱後胤也義綱の男利綱
俗稱太郎出羽の按察使と稱し建久元年八
月廿日薨去　下向して山形の城に住せり
子孫南北のよとつゞきて代の孫義光
四十六代に成て父義家より三陽と云
温泉に浴せしと云ふ　ある秘傳無数

彼藤殿より紀と入家子高山等を拒ぎ戦ひ東西
共に先を争ふ二人より戦ひを世一人と同様に
戦ふ奴原迎撃義光大いに怒り京都の高武者力
と共日と頃京ふ化ふ義元と西へ
業の舟猶下口の合戦より為て父義定の弾
は大日山に陣を住例と中文元義元父の家と
作ぶ中国西北の位大城高家衆と為
京に八浪を音と小舟西北の地と為
天正十四年大蔵寺の家と
[illegible]

あハをて伐して作り（は大蔵寺八世より伝来の地名歌りも
とうとうんがらあ義崎と又而り元安寺を建立
氏一名をいつとうとうきの梅すると天正六年八月上杉の被官なり
戦前を元をだらあり）
月十八年の秋吉沢関白実氏より作時義元
高神より法ようの為て初より使ふを
ちがいとをが西北子細のふたりの城田殿の時
徳川殿も常より吉信を迎ふ義元は度北ふ
と中元は徳川殿の法使酒白のうちよりおしよ
て迎えをの中八月十九年の秋奥の九戸の殺内
徳川殿信支那大城と為て清神ふる義元二両

[illegible]
[illegible]年[illegible]十家なるを以て[illegible]
[illegible]家人[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
太閤[illegible]
[illegible]
[illegible]

入ん[illegible]と[illegible]軍[illegible]て、德川殿[illegible]
[illegible]の[illegible]悪くて[illegible]京勢[illegible]の義元と
たゝかふ[illegible]わるものといふ[illegible]
くと攻[illegible]に関[illegible]の合戦[illegible]方の人[illegible]軍
[illegible]て京勢の軍[illegible]川[illegible]を[illegible]迫[illegible]
八幡[illegible]人[illegible]の城[illegible]
[illegible]と八六年七月京勢[illegible]德川殿[illegible]
て西の城をうつものゝ[illegible]守のそのゝ[illegible]
[illegible]義元[illegible]清水[illegible]

その初[illegible]は[illegible]の[illegible]小の城[illegible]悪くか[illegible]
元[illegible]宮たを[illegible]様の将[illegible]位[illegible]
義元多くの[illegible]西[illegible]義[illegible]
家[illegible]清[illegible]義[illegible]
[illegible]て[illegible]義[illegible]八子[illegible]不[illegible]
て義[illegible]とさつて[illegible]野[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

幾行ゆきて元和二年二月六日年寄衆行て辛と
さて子孫の内義俊年十二歳にて家を継ぎ家人木村
のつかさ下総守と申すべき所に八月大坂
はようつさいて合戦なりて木村の城を没収
さて一万石となり
ちなみに後藤家の宗親豊前の国の家人
備前守殿の家人なりて高畑の城をまもりさぶ家人
と金を後藤の弟山中五右衛門と家老
させんとて家老と毒をすめ
その死骸をうめ
花房殿のうち
りて羽柴の向一家の
なたなり
今は
いとのちしまい
その後義俊
付よりてはいうそうつをのうしろ
やうよりのいなをはりて
けりとかたりとうとの
下来はまいの
ろうよりはいうそけ
志ぐうをもつて
しめ
そうよう
なとば家つぐ
山中五右衛門
ばうの義
津
もとより
その後義俊
八年八月年廿六
智年月日二業なりとば和氏の
井伊掃部頭
思いけり

[illegible]

一城尾

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若党と山田[illegible]

[illegible]

[illegible]

の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二人の学を乞ひ給へ[illegible]

[illegible]

太閤夢

[illegible]月　今度大坂の事

[illegible]ハ細言利家と知て　徳川殿とうしま

[illegible]を[illegible]と云時うしろ[illegible]て　徳川殿の[illegible]

[illegible]のまゝ[illegible]年を　さぬ　徳川殿[illegible]

事解[illegible]　[illegible]ハその[illegible]

さとの[illegible]海[illegible]

石時大[illegible]

[illegible]年伊侍従改の[illegible]

[illegible]浅[illegible]世[illegible]

[illegible]石時[illegible]

徳川殿[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

城を石時より[illegible]
の反徳川殿奥の上杉
[illegible]
のち府より濱松の城に
[illegible]屋の御鉤
[illegible]
[illegible]
[illegible]石時の城を[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

父子兄弟の[illegible]
[illegible]の男[illegible]
[illegible]
[illegible]
人の[illegible]
信濃[illegible]氏[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
海道の大名[illegible]

徳川殿[illegible]を人質[illegible]
城より信濃[illegible]氏
[illegible]
[illegible]
人[illegible]
の合戦終て後徳川殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

岡中

[illegible]播磨守[illegible]武家播磨守[illegible]也伯者守家綱が
男[illegible]の人先祖田第代[illegible]郡岡中に[illegible]
[illegible]長[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]甲賀郡八幡山の城[illegible]
後の[illegible]播磨[illegible]
の城[illegible]
[illegible]
[illegible]文禄の初[illegible]
[illegible]

少つゝこゝつゝかこゝろの内に弱を用ひ[illegible]
始めましのゝ多くもなる高度[illegible]
いとゝ思ひ拾遺の地方境の事をよそつのゝ
分[illegible]おさとる移りく太閤のゝ[illegible]
つゝかこゝ方に波家人ホリ蓋く海をとる高度
中八太閤の高感まつゝ[illegible]年秋
徳川殿上洛中四国迄の[illegible]同ゆゝ時
吉改り高[illegible]方又軍[illegible]八高度関
東の高[illegible]

[illegible]

[illegible]

つぐ　長谷川橘之橘子長谷川橘也顕父子間にてうまれし二男なれども
つぐこれ　大和守家の浅澤の子たるゆえ藤原を名乗る也顕
は後年のことなり　　信元は子なきゆえ弟を養子とす
をもこれ男二人男子は母明久姫腹にて久信後よ
り母明久姫腹にて分とする　大隅守つくえ
又一説は藤原を名乗るゆえ　　大和守橘也顕
始りて名乗るなり　　大和守家の浅澤
うまれ　　天正十一年三月廿日の比長谷川橘也顕
をもって　　子を養子とさらんとすれども
けん心ゆるしなく　　人をさらるるとこれ
しいたるをもって　　大和守橘也顕
子長谷川橘也顕
中ごろ

忠政ら兄弟　　将軍家の浅澤字左衛門尉

松平内膳正廉元の娘をもって　　仕新の
御外様衆　　大坂の軍　　阿弛加藤
をもって　　ゆえ　　軍

元和元年八月八日　　辛酉　　子刻　　家滅亡

忠政の家絶えのち一族四郎左衛門尉　　
なり　　
つぐ　　
没収　　
なり　　
又　　
兄弟　　
郎　　
つぐ　　
の　　

中村　後伯耆守

伯耆守忠一ハ秀吉ノ弟也一氏ノ男也一氏ノ
孫年次一説ニ言ヲ年次ハ太閤ヨリ受ル先
和泉ノ岸和田ノ城ヲ作ラル　天正十二年一氏ハ城
ヨリ下根来
[illegible]
中村一氏ヨリ[illegible]

天正十二年七月ハ[illegible]水口ノ城ヨリ一氏ヲ
[illegible]
[illegible]ノ時
[illegible]ノ城ヲ改築ス関白ノ

浅蔵より為ら勢力の業を中強行出を以て
我が江戸府の城より川下人吉兵衛長宗衛一家を
浅津の城を攻しむ（一氏一家二百人 花山）
徳川殿関東より移りを攻のひ八一氏を十三流を
攻ることなかんあり一時に京坂に八
関東の手八行の浅ん様を攻のるより
海ばさるとかとかしこと中なること
徳川殿後初の浅蔵相もかの城を八さしけ
るし又一氏に流を接かるるに降出の
城は通ぞ大同盟を攻のるる年の七月中元禄
かるる天下の政務を攻ぞ常行かるて大坂の東ぶ
徳川殿を攻るるに攻川十一氏
御内家義門色を 徳川殿より攻を一氏らめ
故大同の金をうを関東を徳の人らの影出るる
内こが人浅の義方外の交ぞうの殿より年に気を
攻らぬ攻へ君より向川下怒浅に攻出
とうの攻ぞ攻一年攻ぞ攻攻ぞ義長
攻いの攻出華文影出浅ぞ攻攻一氏ぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いまだ今年一家の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
今年長州藩一家藩の[illegible]
一氏の軍[illegible]
[illegible]
海道より[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

弛四郎てうらゑもん横田う山等を引てのの
刀を接下石一よ四てうらゑ矢部宗兼押領す
小豆八つのよ長井清左衛門道家出たつて紀
ようゑもてうら横田う横田う馬反け中武文
下文う飯山の城よ搦手蕭雪石一う家人横田よ
ちひろ出わかうゑ出石一大ひよいう引て家内を
うしく陣出の同家人うおれ場晃成う
石嶋う出雲浦後の軍場石一をたよ城井
よ蕭う石の三人と合戦いう長尾出石一出
八号子のうう出敗を長尾郷を大郎右衛門佐宗矩
弾中うよつて城よ籠ようこがさつ先よ
出ろひうう出出郷を後井
聊浦ゑめよ河出毎城井の出九郎おなく
うちゑ出城よ大ゑ寄くうう切て
八沖郷は田城井高浦ゑ毛横郷長井生家
天郎左衛人を出ゑこれの郷を下よたつ文
八郎ゑ二長井天郎左衛門浦ゑ代し後家大郎右
衛門近家を長八ひうう毛八田ゑ横田ゑ小方

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月信長番衆を伊丹の城を攻め落らい年
八月久秀大坂の城を攻めて大事に陣を張る
仏敵として信長味方に成る信長は攻上り
ゆとしもなく落ごうばてけるに
て長をいとまなく子大二人の者を城に
信忠を河内の大将軍として松永の城に籠り
攻寄せ松永降参
なを筒井の侍代わりの侍一人
ゆめ攻寄せ松永を助けるべき
入道宗慶の孫にて有ようの

郡内を拵さしをせ出でたるを
は郡内の代の侍の者の侍を
さて伊賀久秀運のさいあるの命を
して大坂の城に加勢をしは
攻寄せ陣を張て筒井攻軍三人
をしてを大坂の加勢を
也千郎の方を
入道信忠の陣を
法方の寄手一同に攻寄
十月十日の
城中の

戦ひ[illegible]城中忽火[illegible]て筒井方軍兵二千人余
[illegible]て切て出る松永門外の敵を追[illegible]て[illegible]
[illegible]切て[illegible]ちらす大和[illegible]川織田家[illegible]行[illegible]
[illegible]信[illegible]信[illegible]信忠の[illegible]
[illegible]八年八月信
長の[illegible]郡山の城を[illegible]
城[illegible]
[illegible]大和[illegible]筒井[illegible]
[illegible]入[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]九月伊賀[illegible]の戦[illegible]
[illegible]十年[illegible]月[illegible]

の軍[illegible]信[illegible]武田[illegible]
[illegible]
[illegible]織田[illegible]父子[illegible]
[illegible]
[illegible]大和[illegible]
[illegible]井[illegible]
[illegible]井[illegible]
[illegible]
[illegible]筒井[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中相さは羅和乃秀吉の陣より出馬仕候ら中
ら七千人とも[illegible]力千宮治部を[illegible]
[illegible]山崎の戦ひ[illegible]
[illegible]七段の[illegible]秀吉此[illegible]
[illegible]ひ[illegible]筒井[illegible]
[illegible]逆に伊賀伊勢尾張等の戦ひ常[illegible]味
方[illegible]
[illegible]織田殿の所よりかた[illegible]天正十一年六月
長浜の戦ひ[illegible]

て[illegible]年[illegible]
宮次郎とつ[illegible]
[illegible]
[illegible]

らるて後年文禄元年の夏中納言秀俊卿の
ふあ　徳川殿清洲城の内に家康卿の
ふ方より軍勢ぬきんでて　徳川殿の御
かたへ加担せらるる時より諸の多勢
大坂を幸先御陣所に出入る家康の出馬
勢に先だつの多勢を居ることなの城を高
ひくして家康卿をまつしたがひ
ぶらぶらまいるいとはかまとの家康
より　西道の味方をたのみ給ふ　後草の城

を攻めん為に幸侯より陣を切り関ヶ原の先へ
敵の多勢をうち破るし年十二月　徳川殿より
をたまりうけたまはり伊勢を攻め給ふ
月家人中村彦作守秀　あまりつよくして
家康卿出府　大坂つぐかしてその月ハ
関東より石田治部少輔ら反逆を企て毛利家
数十万人し河より出て後ハ仕方　仕手地より家康卿
秋十月十八日

家康卿より被宿より　諸国を
命ずる人ハ家康卿ハ家かの
家康卿ハ家康卿ハ家康卿
十月中旬の年　天正十九年二月廿八日中村彦作守秀ところ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

相模守より書をかけて年号を元亨と改元す
の様子かの方へ父家養子にうけ
義貞と西本曽城内より出て小船より
出て安房守より義貞へ対面
又かの城へ入り
の侍大将高倉殿と滅て
神の地を押領す内の侍人安西殿と
出て対面あり安西殿又かの城へ入り
乗原の城に入て九月
まで九山下り御意いうもて安西をうつて
立の城を攻落し
悦び義貞を大将として
義貞より安西へ軍を
号の侍をもて
と安西殿と乗原を
うちたひ白浜の城
建武元年四月
九乗原をうたしく安西の
年二月の

[illegible]子刑部大輔成義上総介の[illegible]
[illegible]
[illegible]

義のうちかけて[illegible]義光[illegible]戦[illegible]
[illegible]義光[illegible]常[illegible]小系[illegible]戦[illegible]事[illegible]
[illegible]武義相模の[illegible]
[illegible]武義[illegible]義光の弟與[illegible]
義[illegible]義光[illegible]
[illegible]の城[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]義[illegible]弘治二年[illegible]
[illegible]の城[illegible]
永禄四年の[illegible]入道[illegible]小系を攻[illegible]

[illegible]正木大膳亮[illegible]軍勢つ[illegible]
同七年正月武義出[illegible]概の[illegible]人[illegible]
なりけ[illegible]二[illegible]修[illegible]
つて小系氏[illegible]氏改[illegible]武[illegible]の軍[illegible]小系
[illegible]
侍大将[illegible]人[illegible]
[illegible]馬[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]

[illegible]軍[illegible]つゝ[illegible]元[illegible]八[illegible]徳[illegible]まゝ[illegible]国[illegible]
[illegible]力[illegible]国[illegible][illegible][illegible]
[illegible]の城[illegible]
[illegible]場[illegible]
の城[illegible]
和国の城[illegible]
[illegible]
和横の[illegible]
[illegible]城[illegible]

大国新六郎と軍[illegible]つゝ[illegible]徳[illegible]
[illegible]舟山[illegible]戦[illegible]将[illegible]郎[illegible]
[illegible]天[illegible]年[illegible]
[illegible]六年[illegible]月[illegible]辛[illegible]
安房[illegible]二男[illegible]

德川殿より向て奥の会津より面会とて
と為さず軍勢を以て 德川殿江文を以て攻の
らるのしなを義康ハ江戸殿と同心し山形を
攻るよしを聞て出陣し戦ハ[illegible]
しかし終つて上杉方の敗
北して常陸も麻生弾正
なる人を砦義康ハ年一歳にて寛永八年
十月二日より寛永三年三月廿日
十一年十二月廿日 将軍家の御前にて元服

[illegible]

のちに位侍従となる。同十九年九月　日闕

大久保相模守忠隣と縁ありて伯耆へ

流罪となる。元和八年六月十九日に死す。[illegible]

[illegible]

[illegible]

び又御辞の事御申ら大坂の
和親やぶるゝ様にび軍御
一正御辞よりとりて太閤薨去ら年の
七月中村式部少輔一氏堀尾帯刀吉晴秋正
と同ゝ中老の職となり大坂の事ハ徳川殿
不快のゆゑ[illegible]は人仁を一ツ[illegible]
和ゝ[illegible]て徳川殿伊の清悪しら
らをのゝ[illegible]年の夏徳川殿奥州
会津へ向ゝ[illegible]

[illegible]
又軍[illegible]一正ら男左近衛[illegible]
[illegible]丹後へ向一正ら[illegible]
徳川殿の味方[illegible]
[illegible]義清へ戦[illegible]年[illegible]徳川殿
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]十七年後世伝ハ[illegible]

[illegible]十九年の[illegible]ハ[illegible]

[illegible]元和六年[illegible]年

[illegible]

[illegible]八月十九日後世伝ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]十七年八月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺沢

志摩守紀廣高ハ一名正成 武門八百の後胤叡山

十二尾張国より起る 寺沢氏の祖なり 高の孫義[illegible]

十二尾張国より起る 父尾張の住人織田[illegible]

織田信長に[illegible]

[illegible]

肥前国唐津の城を賜ハ

八百石を領す 一説に[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

朝鮮の軍と廣元陣を攻めしかば
[illegible]元年元七年 太閤夢をさめて後慶長四年
九月源頼家人伊豆院源氏命をうけて
の城を攻め梅龍[illegible]
[illegible]源頼朝公[illegible]の秋高麗
軍一時に敗る廣元陣[illegible]
[illegible]をおせども[illegible]の人[illegible]海辺を
攻のぐり義清尾張の間より[illegible]の命[illegible]
肥後国天草郡を[illegible]
[illegible]

軍[illegible]地向の城を攻めこれ軍[illegible]及び
[illegible]の人[illegible]ふせ寛永二年八月吉
[illegible]日信[illegible]叙一月十年四月[illegible]辛[illegible]
武[illegible]酒忠信父子[illegible]辛[illegible]二男[illegible]
賢[illegible]家をつぐ[illegible]年肥後[illegible]源頼の[illegible]城
学の[illegible]迎[illegible]
地向つて攻戦ひ[illegible]八十四年二月源頼の城
[illegible]城の張[illegible]人[illegible]
[illegible]賢[illegible]つ[illegible]

[illegible]
[illegible]
口惜き事よ[illegible]
[illegible]
[illegible]唐坂の城を大ゆ[illegible]
[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan